

第2回 学校運営協議会

1 日時 2022 年（令和 4 年）10 月 24 日（月）14:00～15:30

2 場所 各教室（参観） 図書室（協議）

3 参加者

古山 貴規	PTA 会長
羽田 知世	さくらホーム
宮本 和香	学校関係者評価委員
上野 リサ （オンライン）	穴吹情報デザイン専門学校講師
細田 暁 （オンライン）	横浜国立大学教授
宇根 一成	韃の浦学園 校長

4 内容

① 授業参観（30 分）

② 質疑・応答，意見交換

◆授業の様子

（上野）

- ・全体的に落ち着いて楽しく取り組んでいる。6・9 年の真剣さはさすがだ。
- ・韃学…年間カリキュラムの改善や見直しを，先生方と一緒に取り組んでいる。
先生方も新しい発見を得ている。伴走型でついていきたい。

（羽田）（当日の 3・4 時間目に，5 年生の出前授業を実施）

- ・健康教育を 5 年生で実施したが，学校の先生方の熱心さが伝わってきた。参加した外部講師の方も楽しめた。これからの展開が楽しみになった。

（古山）

- ・子ども達がちゃんと自分達で物事を考えるようになっている。
- ・子ども達が成長している。詰め込み型よりも興味を持ってやったほうが成績も伸びると思う。
- ・韃学…韃以外を知らずに韃をよく知っていても，それは知っていることにならない。
修学旅行などを通して，子ども達にはもっと広い世の中を知ってもらいたい。

（宮本）（6 年授業「TOMO 自慢」を参観して）

- ・子ども達の発想の豊かさに驚かされる。自分たちの固定観念を破ってくれる。
私たちガイド業は，PC や携帯に出てないことを話すのが仕事。調べ学習があつと

いう間にできるからこそ、自分から学び取る姿勢を大切にしてほしい。

(細田)

- ・「幸せな社会とは何か」という、抽象的なテーマに対し、大人達が悩む姿を（子ども達が）見るのもよい。
- ・韮の浦学園は、地域の方や外部講師の方など、いろいろな人が出入りして盛り上がっている。

◆学校全体に対して

(古山)

- ・開校当初、小中まじわってどうなるかという不安もあったが、子ども達も先生方もうまくいっている。
- ・先生方の年齢層が下がっている。先生方の指導能力は、子ども達の成長にリンクしている。

(細田さん他)

- ・子ども達も先生方も、どんどん恐れず失敗という経験をしてほしい。上手くやれると、なぜ上手くやれたのかがわからないままになってしまう。

(校長)

- ・教室環境を守ること＝人の心を育てること。早朝、教室回りをしていると、担任による生活環境づくりをみとることができる。
- ・「これは大切にしないと」→これが見える先生と見えない先生がいる。互いにフォローしあえる環境づくりが必要。
- ・出前授業…たくさんの職業、大人たちに触れることで、自分たちの将来のイメージやきっかけをつかみ、自分から勉強に向かう人になってほしい。
- ・学園会が自立して動けるようになり、教職員との両輪で学校が回り、その取組に対して協議会がアドバイスを送る、そのような学校を目指したい。

(宮本)

- ・今日のような話を、ぜひ保護者の皆さんにも聞いてもらいたい。学校ができること、家庭のしつけで身につけるべきことを、考えてほしい。